

大野一区

災害設備についての講演

防災部会長 山口 隆之

大野4地区合同防災研修

7月19日(日)に、大野東市民センターと1区自治会共同で、防災研修会を開催しました。例年の「防災訓練」での3密を避け、組長さん、防災係、一般の方の参加は遠慮頂き、大野1~4区自治会、阿品台山の手町内会、廿日市市役所職員も含め約70名が参加して、大野東市民センターの防災機器の使い方について、研修を実施しました。



発電機設備の説明

[11:00~11:40] 「大野東市民センターの備蓄品・設備(発電機・かまどベンチ・防災用シャワー・トイレ・授乳室)見学」

荻田所長ら3人の引率で、分散見学。最新設備にも関心が高かったようです。



受付で検温と記帳

[9:00~10:00] 「開会行事・非常食作り」

参加者を非接触の体温計で検温して、受付OK。大野支所の木俣支所長よりご挨拶頂き、野田副部会長の説明で、非常食の仕込み作業を、各自で行いました。

[10:00~10:30] 「災害備蓄について」

大野支所地域作りグループ、地域防災指導員の三浦さんから、「出前トーク」と出身地の「吉和自慢」をして頂きました。

- ① 災害備蓄の基本的な考え方
- ② 廿日市市の災害備蓄の状況
- ③ 自宅で出来る災害備蓄について

[10:30~11:00] 「避難所の設営・仕切テント」大野東市民センターの藤田さんの司会で、ステージ上でテントを組み立てました。



防災用トイレの説明

[11:45~] 「非常食を食べながら情報交換」他地区との情報交換は、野田副部会長司会で各地区の状況を説明頂きましたが、災害が起きたら協力しながら対応してゆくことが大事なのではないでしょうか。



非常食「カレーライス」の試食

環境衛生部会 公園清掃

公園やバス通りの雑草の茂りが目立ち始めた為、環境衛生部会の田坂副部長(花ひろば)が草刈り隊を編成し、7/19～7/26の間で、11か所の公園とバス通り2か所の草刈りを実施しました。これで、秋の一斉清掃まで、少しは見た目も良いでしょう。



草刈り機で一気に刈り込みます



お箸作りの実習

なり、良いお箸ができました。お箸ができたあとは、市民センターから公園に場所を変えていよいよ流しそうめんが始まりました。更生保護女性会のみなさんが茹でてくださったそうめんはじめ、ミニトマト、ゼリーなどを流し、梅雨が明けた直後の暑い日差しのなか、自分で作ったお

流れてくるのを待ち構えています



箸を使って子どもたちも保護者もスタッフも皆おいしくそうめんをいただきました。そうめん流しの後は、綿菓子づくり体験をしました。子ども達にとっては初めての体験となる子も多かったようで、さまざまなたちの綿菓子ができましたが味は変わりません。みんな自分でつくった綿菓子を美味しく食べていました。

今回は新型コロナウイルス感染症が再び広がっていくなか、感染予防対策にも十分気を付けました。全員に検温、手の消毒・手洗い、マスク着用、距離の確保のためそうめん流し台を2つ設置するなど気を付けました。今後も感染予防策の周知も「子どもサバイバル教室」の大きなテーマとしていきたいと思ひます。

大きい綿菓子が出来ました



竹を割って削って流しそうめん

子どもサバイバル教室担当 中川 和之

8月2日(日)午前10時半より、大野東市民センター及び柿ノ浦4号公園にて「子どもサバイバル教室」を開催しました。今回は、竹材をナイフで削ってお箸を作り、そのお箸を使って流しそうめんを食べるというものでした。

当日は、大野一区の子ども会会員18名と保護者14名、インストラクター2名、更生保護女性会5名、万年青会1名、役員・部会員9名と大勢の参加者が集まりました。まず、子ども達には小型ナイフが配られ、インストラクターのタンタン先生(田中雄司さん)からナイフの扱い方の説明を受けました。

その後、竹材を選んで各々お箸作りに挑戦しました。1年生から6年生まで全員徐々に慣れてきて、みんな上手に削れるように

受付で記帳、検温、手の消毒

